

技術士第一次試験に合格して



雨宮 浩樹

勤務先：

株式会社ドーコン 地質部
〒004-8585 札幌市厚別区
厚別中央1条5丁目4-1

TEL 011-801-1571

FAX 011-801-1570

E-mail : ha1493@docon.jp

専門：応用理学部門

自己紹介

私は埼玉県で生まれ、高校卒業まで埼玉県で過ごしました。その後、北海道大学理学部地球惑星科学科（物質分野）に進学し同大学院博士課程前期を修了するまでの6年間、主に鉱床や変質についての研究を行っていました。大学院修了後の平成16年度より株式会社ドーコンに入社し、地質部に配属となりました。現在は地すべりや落石等の斜面災害の業務に多く携わっています。

受験体験

大学在学中は技術士試験についての情報はほぼ全くなく、自分で調べることもしなかったため就職活動中に初めて技術士という資格について知ることになりました。知ったときにはもうすでに平成15年度の技術士一次試験の受験申し込み期限が過ぎていたため、在学中は受験することができませんでした。学部生の頃より将来は地質関係の仕事に就きたいと思っていたのならば、資格ついて自ら調べ、在学中から受験するべきだったと思います。

受験対策を開始したのは入社後まもなくで、社内

の技術士試験を支援する制度が充実しており、時間にゆとりもあったため、適正、基礎科目においては順調に勉強することができたと思います。

しかし、専門科目（応用理学部門）の対策を始めると一変し、すぐに勉強が行き詰まりました。自分が知らない分野からの出題が多数あり、どこから対策していいものかさっぱりわかりませんでした。応用理学部門の受験者が少ないことも対策を難しくしている一因であったと思います。

最後まで専門科目の対策に手間取っていたため、基礎科目は全問正解を目標に勉強し、専門科目の一部はあきらめ、一部は丸暗記しました。また技術士試験に関するホームページをおおいに活用しました。

結果としてはこの対策方法が良かったのか、基礎科目はほぼ満点、専門科目は5割未満という成績でしたが合格することができました。しかし、自らの専門科目にもかかわらず、理解できない分野があるという勉強不足を痛感しました。限られた時間の中での試験対策としては仕方なくもあり、効果的でもあると思いますが、本来はこのような付け焼き刃的な対策ではなく、真に身に付くような勉強をするべきだと思います。

今後に向けて

今回、技術士一次試験には合格したものの、自らの勉強不足が明らかになったと実感しました。技術者として一人前になるためには、幅広い分野での技術力の向上が不可欠であると同時に、得意分野でのより深い理解が必要であると思います。今後も幅広い分野の勉強を継続し、一技術者として精進したいと思います。